

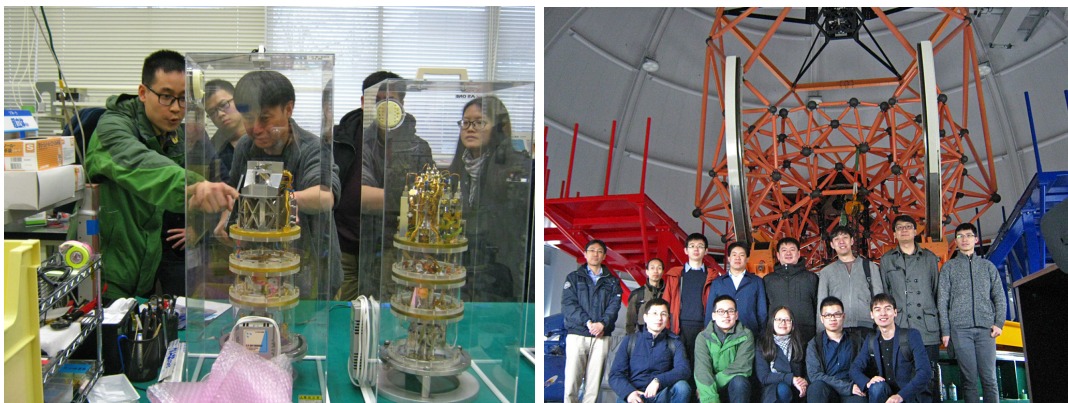
9.2 外国人及び外国在住日本人研究者来訪

- Jinping HE, Jian HAN, Zhen TANG, Mingda JIANG, Hangxin JI, Zhibo HAO
Tianyi ZHANG, Fan FENG, Lan WANG, Tong ZHOU, Yangyi LIU
中国科学院国家天文台 (中国)
LIU, Y.(光電技術研究所) ほか 10 名 (南京天文光学技術研究所)
3月4日 (花山)
3月6日-7日 (飛騨)
3月8日-9日 (岡山)
2017年度 JST さくらサイエンスプランにより招聘
- Frederic Clette
ベルギー王立天文台
3月23日-28日 (京都)
セミナー (3/27 雑誌会)The Sunspot number: historical base, current
recalibration and scientific impact
- Bernhard Kliem
ポツダム大学物理天文学研究所
4月9日-13日
セミナー (4/9)Flux Rope Formation by a Confined Solar Flare Prior
to a Coronal Mass Ejection
- Manuel Güdel
ウィーン大学
5月18日-20日 (京都)
セミナー (5/20)Open Issues on the Evolution of the Sun, its Space Weather
and Habitable Environments
- Theresa Luftinger
ウィーン大学
5月18日-20日 (京都)
セミナー (5/20)Drivers of Space Weather from Evolving Young Stars
— Implications for Planetary Atmospheres
- Sam Krucker
ISEE, Nagoya University, Japan
Space Science Laboratory, University of California, Berkeley, USA
University of Applied Sciences Northwestern Switzerland
5月29日-30日、7月10日
セミナー (7/10)Hard X-ray Observations as Diagnostics of
Particle Acceleration in Solar Flares
- Erica Lastufka
チューリッヒ工科大学
7月6日 (京都)
セミナー Highly Occulted Flare and CME of May 1, 2013
- Yuandeng Shen, Yu Liu, Tengfei Song and Xuefei Zhang

- 中国
 7月10日-13日(京都)
 7/11にセミナー
 Yuandeng Shen 「Recent Advances in Observing Coronal EUV Waves」
 Yu Liu 「Site survey and our preliminary plan for future coronagraph project」
- ・ Petr Heinzl
 10月1日-14日
 セミナー(10/9)White-light flares and stellar superflares
 - ・ Allan Sacke Brun
 セミナー(10/31)Linking stellar dynamo action to flux emergence (and flares)
 - ・ Kirill Kuzanyan
 IZMIRAN (ロシア)
 11月26日-12月1日(飛騨)
 研究打ち合わせ
 - ・ Nitta Nariaki
 Lockheed Martin Solar and Astrophysics Laboratory
 12月10日-11日(京都)
 セミナー(12/10) Origins of Solar Eruptions as Diagnosed with
 their Coronal and Heliospheric Signatures

2017年度 JST さくらサイエンスプラン (S2017F1109595)

科学技術振興機構(JST)による「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」において、今回「将来の地上大型天体望遠鏡のための技術と装置開発」を主テーマとし、南京天文光学技術研究所を中心とするメンバー11名を、2018年3月3日-9日の期間、日本に招聘し、研修ツアーを実施しました。



(左): 国立天文台三鷹キャンパスの先端技術センター内の見学の様子。(右): 京都大学岡山天文台 3.8m 望遠鏡前での集合写真。

中国では、現在天体観測装置の開発分野において、複数の大型望遠鏡の研究・開発が進められています。一方、日本国内では、国立天文台や京都大学などを中心に、各種大型望遠鏡の建設や、特徴的な観測装置の開発に成功してきています。今回、中国の将来の大型

望遠鏡の開発を担う若手研究者・技術者を招聘して、これら日本の技術を概観してもらうことで、それを今後の留学や国際共同研究開発の推進への契機とし、日中両国の科学技術の発展に結び付けることを目指して、この事業を実施しました。

今回の研修ツアーでは、京都大学花山天文台、国立天文台三鷹キャンパス、京都大学飛騨天文台、ナガセインテグレックス社、国立天文台岡山天体物理観測所、京都大学岡山天文台 を訪問して回りました。

今回の研修ツアーにおいては、各訪問先の多くの御担当者の方々の御好意により、ボランティア、もしくは本業の一環として、講義や見学解説を行なって頂くことができ、無事に大変充実した研修内容を実現することができました。参加者からは、研究員として再来日を希望する声、装置開発に関する共同研究・共同開発を希望する声が寄せられました。

詳細報告:

http://www.ssp.jst.go.jp/report2017/k_vol430.html

(上野)

9.3 海外渡航

(のべ 37 件)

- ・ 上野 悟、木村 剛一、Denis Cabezas: 1月22日-2月3日 イカ(ペルー)
SPIRITS 事業「日本・ペルー・サウジアラビア 高速太陽爆発監視システムの構築とその活用」に係るイカ大学での各種調整、打ち合わせ
- ・ 柴田一成: 2月16日-25日 ジャイプール(インド)
Symposium on “Solar-Stellar Magnetism: Past, Present and Future” に参加
IAU Symposium 340: Long term datasets for the understanding of solar and stellar magnetic cycles に参加
- ・ 行方宏介: 2月17日-26日 ジャイプール(インド)
国際学会 IAU Symposium 340 に参加・発表
- ・ 坂上峻仁: 2月18日-25日 ジャイプール(インド)
国際学会 IAU Symposium 340 に参加・発表
- ・ 野津 湧太: 2月25日-3月4日 ベルン(スイス)
International Space Science Institute (ISSI) にて開催の
2nd workshop of ISSI team “Quasi-periodic Pulsations in Stellar Flares: a Tool for Studying the Solar-Stellar Connection” に参加・発表
- ・ 野津 湧太: 4月1日-7日 リバプール(イギリス)
Arena & Convention Centre にて開催の、European Week of Astronomy and Space Science (EWASS2018: ヨーロッパ天文学会) に参加・発表
- ・ 野津 湧太: 4月7日-16日 ワシントン DC(アメリカ)
NASA Goddard Space Flight Center にて開催の、Environments of Terrestrial Planets Under the Young Sun: Seeds of Biomolecules に参加・発表